

2020.1.19 三条市 雲蝶サミット

植村角左衛門の事績と石川雲蝶

栃尾観光ガイドクラブ

大崎 勉

1 栃尾の観光スポット

- ① 上杉謙信と栃尾城跡
- ② 栃尾の宮彫り
 - ・ 石川雲蝶と小林源太郎（秋葉神社奥の院、貴渡神社、曹源寺）
 - ・ その他の宮彫り（羽黒神社、吉野神社、丰二山神社、南部神社 他）
- ③ 栃尾の義経伝説（静御前の墓、那須与一と古戸城、佐藤兄弟と乙羽御前）
- ④ 栃尾の雁木通り
- ⑤ 栃尾の石仏と道祖神
- ⑥ 自然（守門岳、道院高原、名水百選・杜々の森湧水）

2 植村角左衛門と貴渡神社

① 栃尾織物の年譜（「栃尾と織物」から一部抜粋）

- ・ 上古の時代 栃尾の地方は高志と言われ、その頃の住民達は、一種の織物を作っていたと言われる。
- ・ 貞和年間 足利尊氏の臣である芳賀禪可が栃尾城に居り、白紬を年貢として徴したという。
- ・ 寛文初年 信州佐久郡の人滝沢五兵衛を招き機業を練習させた。
- ・ 延宝の頃 初めて白紬を製造したが、その氏名は不祥である。
- ・ 寛政2年 植村角左衛門（以下「角左衛門」という。）が縞紬を製織する。
- ・ 寛政4年 荷頃村六之助の妻オヨが縞紬を織った。
- ・ 寛政5年 六之助の倅新之丞が神楽舞の列に伍して東谷村宮沢の盆祭礼雇われ、オヨが自慢の手織縞紬を単衣に仕立て着せた。それをみた老若男女が大変珍重し、角左衛門の妻がそれを聞き伝えて、オヨに織り方を習つたという。
- ・ 享和年間 角左衛門の教化で栃堀地方に養蚕業が飛躍的に興隆し、紬織を製造した。
- ・ 享和の年 栃尾宮沢村の通称三左衛門が、栃尾織物を持って江戸の越後屋と取引を始めた。
- ・ 文化的頃 問屋権を植村家に請い、栃尾湯谷彦左衛門に移した。
- ・ 嘉永年間 栃尾の織物産額は、年間三万疋又は二万疋に達した。（栃尾案内）
- ・ 明治初年 海外輸出の綿糸、又は蚕卵紙の利益があるために、栃尾の織物生産額は減少、年産二万疋以内であった。

② 植村角左衛門（「栃尾市史」から一部抜粋）

- ・ 天明の大飢饉の際、長岡藩は城下の中嶋で飢民の救助にあたる。
- ・ 天明3年（1783年）43歳の時、藩主の命によって栃堀村の庄屋・植村角左衛門はこれの救済にあたる。
- ・ そして、その惨状をみて村方に産業があればこのような窮状を呈さずにするのではないかと考え、以後、専ら郷民に蚕桑機織を奨励する。
- ・ そのかたわら品質・製品の改良にあたり、草木皮など染料として使用できそうなものはすべて試み、ついに縞紬の完成をみた。寛政2年（1790年）のこと。
- ・ 一方、荷頃村の大崎オヨの父（山伏であったという。）が魚沼地方十日町付近を遍歴中、越後上布の中に縞物があるのを見て、栃尾郷の紬も縞柄にして織りだせば利益が多くなるだろうと思い、娘のオヨに伝えた。オヨはそれから工夫を凝らし、従来使用していた草根木皮樹皮等から染料に一層の改良を加えて糸を染め、ついに縞紬を完成したと言われている。寛政4年（1792年）のこと。
- ・ このように、オヨと角左衛門とはそれぞれ別個に創意工夫を凝らしたと伝えられているが、角左衛門はオヨの縞紬のことを聞き及び、その技術を妻に伝習させたともいわれている。
- ・ 以上のことを考えると、開発への着手は角左衛門が早いが、出来た織物はオヨのものが立派であつと言ふことであるが、相互に協力して栃尾の織物の基礎を作ったということになる。
- ・ 角左衛門は、小柄な体格で髪は総髪だったということで、たくさんの弟子を家ごとに訪ねて、親切に織物の技術を教えたといわれている。
- ・ 角左衛門は、文政4年（1821年）10月24日に享年84歳で亡くなる。
- ・ 角左衛門は、大正13年（1924年）、昭和天皇御成婚式典に際し従5位に追贈された。

③ 貴渡神社と石川雲蝶

- ・ 角左衛門は、神号「貴渡」と称して「貴渡神社」に祀られている。
- ・ 「貴渡神社」は、植村家によって嘉永元年（1848年）に建立された。植村家が所有していたが、明治42年（1909年）に栃堀村に移管された。
- ・ 貴渡神社は、石川雲蝶の彫刻で埋め尽くされている。角左衛門が栃尾織物の基礎を築き振興したという由来から、桑の葉を摘み、蚕を育てて、繭を煮て糸を繰り、織物とするまでの様子が生き生きと表現されている。そこに彫りだされた人物の服装や表情等、全体を通して中国風に描かれ、その構図の躍動性や巧みな彫刻技法は、見る人を感嘆させずにおかない。また、南北及び東の上部側面には、躍動感のある十二支の彫刻も見られる。
- ・ 貴渡神社は、「機神さま」とも呼ばれ、織物の技術を向上させたいとする女性の参拝が絶えなかった。
- ・ 貴渡神社は、毎年9月に「貴渡神社大祭」として、織物組合関係者も多数出席して盛大な祭典が行われている。